

授業科目名	幼児と健康		担当教員名	三上 聡子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-領域に関する専門的事項 健康 / 保育内容の理解と方法	
必修-選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (3期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園副総園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、幼児教育の現場での実例を多く取り上げて授業を行っている。 ※「保育内容の理解と方法」の指導内容を含む
授業の概要及び全体目標	健康な体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。 (乳幼児の発育発達、健康、基本的生活習慣、安全な生活等において、乳幼児期には成人と異なる特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることを理解する。) ※ICTの活用、協働学習を含む。			
到達目標	<p>(1)乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。</p> <p>①乳幼児期の心と体、運動発達などの健康課題を説明できる。</p> <p>②健康の定義と乳幼児の健康の意義を理解できる。</p> <p>(2)乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。</p> <p>①乳幼児の体の発達と発達の特徴を説明できる。</p> <p>②乳幼児期の基本的生活習慣の形成とその意義を説明できる。</p> <p>(3)安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。</p> <p>①幼児の安全教育・健康管理に関する基本的な考え方を理解している。</p> <p>②幼児期の怪我や病気の特徴や予防について説明できる。</p> <p>③危険に関してリスクとハザードの違いと安全管理を理解している。</p> <p>(4)幼児期の運動発達の特徴を説明できる。</p> <p>①乳幼児期の運動発達の特徴を説明できる。</p> <p>②幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。</p> <p>③日常における幼児の動きの経験やその配慮など身体活動の在り方を説明できる。</p>			
テキスト	使用しない			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 配付プリントに参照URLを標記			
成績評価の方法	授業への取り組み・討論への貢献度(20%)、発表・提出物(40%)、講義内容に関する理解度・到達度チェック(筆記形式)(40%)			
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等				
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	乳幼児期の健康課題 健康の意義と乳幼児期の健康の意義、乳幼児を取り巻く生活環境と健康			(1)-①,(1)-②
第2回	乳幼児期の発育発達 乳幼児期の発育発達の特徴、生理機能の発達			(2)-①
第3回	乳児の遊びとしての運動			(4)-①,(4)-②
第4回	幼児期の発育発達 幼児期の心身の発達			(2)-②
第5回	幼児の遊びとしての運動			(4)-①,(4)-②,(4)-③
第6回	乳幼児期の生活習慣の形成 乳幼児期の基本的生活習慣(食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、清潔)の獲得			(2)-②
第7回	乳幼児と病気・怪我 乳幼児が罹りやすい病気、感染症の予防、起こりやすい事故、怪我の応急措置			(3)-②
第8回	乳幼児の安全 リスクとハザード、安全についての意識や態度を育むことの重要性と安全管理			(3)-①,(3)-③